

私 の 工 夫

学びを引き出す授業づくりの工夫
生徒の学びの姿から見たもの

岡山大学教育学部附属特別支援学校
高等部 教諭 小林 敬和



1 はじめに

特別支援教育における授業づくりでは、ハウツー本のように指導法が書かれた書籍がよく出ている。一見、それはどの生徒にも当てはまるように思えるが、実態が個々に異なる生徒に対しては、当てはまらないことが多くあると実感している。

私は、知識や経験を基に、物事の本質を即座に読み解き、その時の状況に臨機応変に対応しながら、自然な形で教師と生徒が関わり合い、授業が展開していくように心掛けています。そのためには、自身が知識や経験を積み重ねるとともに、生徒の姿を的確に捉え、

直観を基に本質を読み解き、必要に応じて指導を変化させることが重要であると考えます。

ここでは、高等部における作業学習（農耕班）でのエピソード及び教師の直観を基に課題を変化させた例を示し、生徒の学びを引き出す授業づくりの工夫を紹介する。

2 実践

(1) エピソード「ナスの収穫をめぐるFさんとHさんの会話」

農耕班では、授業の始めに生徒と教師が一緒に野菜の生育状況や畑の状態を観察し、その日の作業内容を決めている。3年生のFさんが畑の観察をしていると、ナス



ナスの生育状況の確認

が以前より大きくなっていることに気づき、教師を見て「収穫しよう」と言った。

Fさんは以前にも収穫物の大きさを測り、基準に達した野菜を収穫した経験があった。そこで、教師は過去の経験を思い出して収穫できる大きさかどうかを判断してほしいと考え「でも収穫できる大きさなのかな？」と尋ねてみた。Fさんは少しの間考えた後、首をかしげ「分からない」と答えた。教師は、Fさんが収穫する際に大きさを測っていたことや、基

準となる大きさがあることを想起するだろうと思っていたが、Fさんの返答は教師の予想と異なるものだった。そこで、教師はFさんに収穫できる大きさの基準を自分で調べさせたり、考えさせたりしようと思い「どうすれば収穫できる大きさが分かる？」と尋ねた。すると、その様子を近くで見ていた1年生のHさんが「調べてみよう」と言った。教師が、二人に「どうやって調べるの？」と尋ねると、Fさんは「インターネット」、Hさんは「図書室の本」と答えた。その後、Fさんは教師のサポートを受けながらインターネットで調べ、ナスの収穫基準は15^{センチ}以上であることを突き止めた。Hさんは、本を出してナスについて調べたが、収穫の基準は書かれておらず、Fさんに「こつちには書いてなかった。そつちは？」と声を掛けた。Fさんは「あったよ」と答え、インターネットのナスの収穫基準が書かれた個所をH

さんに見せた。Hさんはそれを見て「15^{センチ}以上か」と納得するように言った。



ナスの収穫基準を調べるためのインターネット検索

次に、教師は「どうすれば15^{センチ}以上かどうかが分かる？」と尋ねた。すると、Hさんは「スケールを作ればいい」と言い、Fさんも「いいね」と言っつてこの意見に賛同し、スケールを作った。

その後、ナスを収穫する際には自分で作ったスケールを使い、基準に達しているかどうかを判断しながら収穫することが定着した。



スケールを用いて、ナスが収穫基準に達しているかどうかを確認

(2) 教師の直観を基に変化させた課題

Fさんの「収穫しよう」という発言を受け、教師は課題としてナスの大きさを中心とした、収穫時の課題に気付かせ、解決させようと思い「収穫できる大きさをな？」と尋ねた。しかし、Fさんが教師の予想と異なった返答をしたため、教師は即座に課題を修正し、収穫基準があることを学ばせようと考え「どうすれば収穫できる大きさがわかるかな？」と尋ね

た。Fさんは答えられず、代わりにHさんが答えたので、教師はさらに課題を修正し「どうやって調べるの？」と尋ねるとともに、収穫基準にたどり着いた二人に対し、教師は具体的な解決方法を考えさせようと思い「どうすれば15^{センチ}以上かどうかが分かる？」と尋ねた。



基準に達したナスの収穫

を臨機応変に変化させており、その中で生徒は新たな視点に気付く、学びが広がっていったと考える。教師が生徒の姿を的確に捉え、その生徒に何に気付かせ、何を学ばせるのか、どのように学ばせるのか、どのように授業を展開するかなど、その時、その場面、その状況に応じて直観を働かせ、臨機応変に生徒とやりとりしていくことが授業づくりの基本であると考ええる。今後もそのような授業実践を積み重ね、その学習過程を振り返ることで、教師の経験によってのみ得られる実践に裏打ちされた理論による指導を追求したい。そしてそこで得られた視点を授業づくりの重要な視点に据え、生徒の情動を引き起こしながら深い学びにつながるような授業を追求していきたい。

3 まとめ

本エピソードでは、生徒のその時々々の姿を捉え、教師の直観を基に授業の展開や生徒に与える課題